

平成21年第1回（2月）出雲崎町議会臨時会会議録目次

第1日 2月26日（月曜日）

議事日程	1
本日の会議に付した事件	1
出席議員	2
欠席議員	2
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	2
職務のため議場に出席した者の職氏名	2
開会及び開議	3
議事日程の報告	3
会議録署名議員の指名	3
会期の決定	3
議案第1号 町長専決処分について（平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第6号））	3
議案第2号 平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第7号）について	5
議案第3号 平成20年度出雲崎町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について	12
閉 会	13
署 名	15

第 1 号

(2 月 26 日)

平成21年第1回（2月）出雲崎町議会臨時会会議録

議 事 日 程 （第1号）

平成21年2月26日（木曜日）午前9時30分開会

- 第 1 会議録署名議員の指名
 - 第 2 会期の決定
 - 第 3 議案第1号 町長専決処分について（平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第6号））
 - 第 4 議案第2号 平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第7号）について
 - 第 5 議案第3号 平成20年度出雲崎町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）について
-

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

○出席議員（10名）

1番	小林泰三	2番	田中政孝
3番	南波榮一	4番	田辺雅巳
5番	山崎信義	6番	中野勝正
7番	宮下孝幸	8番	日山正雄
9番	田中元	10番	中川正弘

○欠席議員（なし）

○地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名

町長	小林則幸
副町長	小林忠敏
教育長	佐藤亨
会計管理者	関川政敏
総務課長	山田正志
町民課長	徳永孝一
保健福祉課長	河野照郎
産業観光課長	加藤和一
建設課長	玉沖馨
教育課長	田中秀和

○職務のため議場に出席した者の職氏名

事務局長	佐藤信男
書記	小野塚千春

◎開会及び開議の宣告

- 議長（中川正弘） ただいまから平成21年第1回出雲崎町議会臨時会を開会します。
直ちに本日の会議を開きます。

（午前 9時30分）

◎議事日程の報告

- 議長（中川正弘） 本日の日程は、議事日程第1号のとおりであります。
-

◎会議録署名議員の指名

- 議長（中川正弘） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本臨時会の会議録署名議員は、会議規則第119条の規定により、7番、宮下孝幸議員及び8番、日山正雄議員を指名します。

◎会期の決定

- 議長（中川正弘） 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本臨時会の会期は、本日1日としたいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

- 議長（中川正弘） 異議なしと認めます。

したがって、会期は本日1日と決定いたしました。

◎議案第1号 町長専決処分について（平成20年度出雲崎町一般会計補正予算
（第6号））

- 議長（中川正弘） 日程第3、議案第1号 町長専決処分について（平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第6号））を議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長。

- 町長（小林則幸） ただいま上程されました議案第1号 一般会計補正予算の専決処分につきましては、国の第2次補正予算に盛り込まれております地域活性化・生活対策臨時交付金を財源といたしまして、役場庁舎の耐震補強工事を実施するために、急遽耐震診断、補強設計業務の実施の必要が生じたことに伴い、平成21年1月14日付で専決処分を行ったものであります。

歳出2款総務費に係る委託料の計上、歳入に地方特例交付金、地方交付税を追加計上いたしました。

これによりまして、歳入歳出にそれぞれ補正額627万5,000円を追加し、予算総額を34億3,933万9,000円とするものであります。

よろしくご審議を賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（中川正弘） 補足説明がありましたらこれを許します。

総務課長。

○総務課長（山田正志） それでは、若干の補足説明をさせていただきます。

歳出、240ページをお願いいたします。町長の提案の説明のとおりでございますが、町内の実は小中学校の耐震補強工事は既に完了しております。最後にこの役場庁舎の補強を21年度にというふうなことで耐震診断を予定しておりましたが、その中でまた財源を検討しておりましたが、このたびの2次補正の臨時特例交付金事業の該当になるというふうなことで進めさせてもらっているというところでございます。まず耐震診断、それと補強設計というふうなことで、今回専決処分で委託料として上げさせていただきました。

戻っていただきまして、238ページ、歳出でございます。地方特例交付金、特別交付金、これにつきましては決定額でございます。

地方税等減収補てん臨時交付金、これは20年度限りのものになりますが、4月の暫定税率の執行に伴う影響分というふうなことで国から措置された部分でございます。

それと、10款の地方交付税、この財源調整のため地方交付税を追加してございますが、これは普通分の追加というふうなことでございまして、地方交付税の補正前の額の13億円につきましては、普通分が12億4,000万円、特別分が6,000万円というふうな予算になってございます。普通分につきましては、決定額が13億7,800万円余りとなっております、この時点で留保が1億3,800万円ぐらいでございます。したがって、その部分の中の一部を追加補正をさせていただきます、留保分につきましては3月議会でもた補正をさせていただきたいというふうなものの財源でございます。

補足説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（中川正弘） これから質疑を行います。質疑ありませんか。

8番、日山議員。

○8番（日山正雄） 先ほど議長がおっしゃいましたように、またちょっと大きい地震が来たようですが、やっぱり早いほうがいいかと思うのですが、この診断そのものにつきましては、一業者を選定されているのか、複数でやられるのか、その辺はどうなのか。また、工事そのものというか、入札そのものはいつごろと考えるおられるのか、わかりましたらお聞きしたいのですが。

○議長（中川正弘） 総務課長。

○総務課長（山田正志） 実は1月14日付で専決をさせていただきます、既に診断、また設計関係につきましては、1月20日に入札を終えてございます。長岡市の株式会社鷺津設計が落札をいたしまして、設計含めまして3月31日までの工期というふうなことで、一昨日も耐震の関係でコア抜き

をしまして、診断進めているというふうなことでございますので、よろしくお願ひいたします。

○議長（中川正弘） 8番、日山議員。

○8番（日山正雄） ありがとうございます。どなたでもいいのですけれども、お金もあるような話を今聞いておりますので、早々にやっぱりやられたほうがと思いますので、よろしくお願ひします。

○議長（中川正弘） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第1号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 異議なしと認めます。

したがって、議案第1号は委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから議案第1号を採決します。

この採決は起立によって行います。

議案第1号は原案のとおり承認することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○議長（中川正弘） 起立全員です。

したがって、議案第1号は原案のとおり承認されました。

◎議案第2号 平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第7号）について

○議長（中川正弘） 日程第4、議案第2号 平成20年度出雲崎町一般会計補正予算（第7号）についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長。

○町長（小林則幸） ただいま上程されました議案第2号 一般会計補正予算につきましてご説明を申し上げます。

このたびの予算補正は、国の第2次補正予算に関連するものであります。歳出から各款ごとに主なものを申し上げますと、2款総務費には、庁舎の耐震補強の本体工事関連経費、非常用発電機設置工事費を計上いたしました。また、13目に定額給付金事業費を新設し、本体の給付金と関連事務

費を計上いたしました。定額給付金につきましては、対象予定者5,340人を見積もっております。

次に、3款民生費、1項社会福祉費に、ふれあいの里内デイサービスセンターの車いす対応型の特殊浴槽購入費、また町社会協議会に委託しております地域包括支援センターの活動用軽自動車購入関係費を計上いたしました。

2項児童福祉費では、子育て応援特別手当、関係事務費、出雲崎保育園の通園バス購入補助金を計上いたしました。

4款衛生費には、簡水会計での上中条浄水場非常用発電機施設整備に係る財源となる臨時交付金を繰り出すものであります。

8款土木費におきましては、町道門前線の整備関係費、町営住宅のシャワー設置の浴室改修工事費を計上いたしました。また、尼瀬地内のポケットパーク奥に、公衆便所設置関係費を計上いたしました。

9款消防費には、消火栓ホースを全町に各1本、追加配備のための経費、また現在、川西に間借りしております3分団1部の消防小屋の新築工事関係費を計上いたしました。

次に、歳入では、これらの歳出補正予算に要する財源として、地方交付税、子育て応援特別手当、定額給付金、臨時交付金などの国庫支出金、繰入金、町債を計上いたしました。

これによりまして、今回の補正は、歳入歳出にそれぞれ2億908万6,000円を追加し、予算総額を36億4,842万5,000円とするものであります。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（中川正弘） 補足説明がありましたらこれを許します。

総務課長。

○総務課長（山田正志） それでは、補足説明をさせていただきます。

歳出、249ページをお願いいたします。まず、財産管理費の関係でございますが、先ほどの庁舎耐震関係、入札終わっておりますので、差額分の減、さらに今後管理が出てまいりますので、その分の計上というふうなことで差し引き分を計上してございます。

工事関係につきましては、耐震補強工事、まだ実際設計は終わっておりませんが、過去の建物の状況から見まして、工事費として5,000万円を計上してございます。それと、庁舎の発電機関係でございますが、これは全員協議会で申し上げましたが、電灯を中心に40キロを予定しております。このため冷暖房は使えないというふうなことになりますが、1回30リットルの給油で3時間が可能というふうなことで、一応発電機、これは屋外のキュービクルのわきに設置というふうなことで、電灯関係を中心というふうなことで考えてございます。

それと、13目定額給付金、これは新しく目を新設いたしましたが、関係する事務費関係、また本体工事というふうなことで、電算の委託関係、それと定額給付金につきましては5,340人見積もっておりますが、若干の今時点での状況より増えた数字で見積もってございますが、今回計上させてい

ただいたというふうなものでございます。また、職員手当関係は、正直私どもの町の状況からしまして、役場で待っているというより、外に出て受け付けをするというふうな形のほうがよりよい対応ができるのではないかなというふうなことで、例えばであります、休日関係を選挙のような形がいいのでしょうか、そこまで全部詰まっておりますが、外へ出て受け付けをしておいでいただくというふうな形のほうが、よりよく対応ができるのではないかなというふうなことで、休日の職員対応分というふうなことで職員手当を計上してございます。

続きまして、民生費でございます。車いす対応型特殊浴槽、これはやはり平成9年に導入したものでございます、12年経過しているというふうなことで更新というふうな部分でございます。あと包括の軽自動車、町長の説明のとおりでございます。

続いて、251ページ関係の子育て応援特別手当、これも定額給付金と同時に進んでいるものでございますが、上の子が高校生以下、2番目の子が小学校就学前から3年間の子供というふうなことで、当町45人が現在対象になるかと思いますが、3万6,000円を一時金でというふうなもので考えております。

それと、保育園バス関係は町長の説明のとおり、出雲崎保育園でのバス購入に対する助成金でございます。

衛生費の簡水の繰出金、町長の説明のとおりでございます。

続いて、252ページ、農業費の農業振興費の財源更正でございますが、これは12月の議会でも補正をお願いしました滝谷生産組合の田植機関係ほかの助成、これが財源として臨時交付金が該当すると、昨年12月31日以降に執行したものが該当するというふうなことになりますので、財源更正というふうなことで歳入だけ受け入れというようなことで計上してございます。

商工費の天領の里の時代館の設備改修事業、これも同様に財源振りかえというふうなことでございます。

続いて、253ページ、土木費関係、これは道路新設改良工事、これは説明のとおり門前線、JA跡地と、仙海、大栄信用組合との間の道路の県道との丁字路関係をというふうな拡幅でございます。関係する用地買収費を計上してございます。

住宅費につきましては、浴室改修でございますが、大門が20、米田が4、小木4棟というふうなことで28棟のシャワー設置というふうなことでございます。

それと公衆便所整備工事、これにつきましては町長の説明のとおり尼瀬地内のポケットパークの奥にというふうなことで、デザインコンペを含めまして関係費を計上いたしました。

254ページ、消防費関係でございます。需用費、消耗品の追加、これは町内132カ所の消火栓の個数、現在各2本でございますが、プラスもう一本配備で3本体制というふうなことで考えております。それと消防小屋関係、これは3の1、川西に現在間借りしておりますが、その部分、2間半、3間半の消防小屋というふうなことで、一応中2階設けまして、休憩できるような建物を考えてお

ります。設計もこれからというふうなことでございますので、よろしく願いいたします。

あと防災対策につきましては、これは財源更正でございます。これもJ—ALERT、防災無線の緊急通報システム、今工事を行っておりますが、これも該当になるというふうなことで起債を取りやめ、交付金を対象にというようなことで財源更正をさせていただきました。

戻っていただきまして、歳入、247ページでございます。地方交付税につきましては、先ほどの留保分の普通分の追加というふうなことでございます。

国庫支出金につきましては、今ほどの歳出に伴う国負担分の計上でございます。

それと、248ページは繰入金でございますが、これも財源振りかえをしたため、基金で繰り入れを見ていた部分を逆に戻すというふうな部分での財源更正の関係する部分でございます。

町債につきましては、無線関係は財源振りかえでございますが、庁舎につきましては臨時交付金全額を充当して現在はいません。臨時交付金の枠自体が1億1,300万円でございますので、庁舎関係では不足が生じますので、これ最近出てきたのですが、災害対策本部を置く建物について起債充当ができる事業がございますので、その辺の部分と臨時交付金をセットにしまして対応させていただくというふうなことで、これは2分の1交付税措置がある起債でございます。

戻っていただきまして、244ページ、地方債の補正というふうなことで、これは歳入、先ほどの町債の庁舎関係で計上、新たに追加したものでございます。

それと防災無線は、先ほどの財源振りかえに伴って廃止というふうなことでございます。

それと255ページ、職員関係の給与費の明細書をごらんいただきたいと思います。先ほどちょっと申し上げましたが、役場以外での出先での受け付け考えているというふうなことで職員手当を計上してございます。

それと256ページ、これは先ほどの町債の関係での調書でございます。

それと、今回の追加補正につきましては、臨時交付金関係につきましては、特に消火栓ホースは年度内の執行配備というふうなことを考えておりますが、そのほかのものにつきましては21年度への繰り越し事業というふうなことで予定をしてございます。これは、また3月議会、予算補正においてお願いするというふうなことになるかと思いますが、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○議長（中川正弘） これから質疑を行います。質疑ありませんか。

4番、田辺議員。

○4番（田辺雅巳） まず、247ページの国庫支出金、定額給付金事業補助金、それと支出のほうの249ページ、定額給付金に関係することについてちょっととりあえず質問したいと思っています。

まず初めに、私は定額給付金事業について国のやり方について意見を述べるということでありませぬ。そういう使い方をしてはいけないというふうには私は思っているわけでありませぬ。その1つとして、世界的大不況で、今不況の嵐が吹き荒れているわけでありませぬ。派遣切りや景気、福祉、雇用

安定などにこういう予算を使うべきものであり、景気、福祉、雇用など至急に対策が急がれていると私は思っております。

2つ目として、消費税増税の抱き合わせとなっており、国民に新たな負担を押しつけ、景気の後退を招くおそれがあるということでもあります。

3つ目に、これは国家的選挙買収の意味合いもあります。衆議院解散が叫ばれているわけですから、そういう点でお金をばらまくという意味では賛成しがたいというふうに私は思っております。しかし、法律で決まれば、これ仕方ないと思いますので、町長はそうした点ではどういうふうにお考えなのかちょっとお聞きしてみたいと思います。

○議長（中川正弘） 町長。

○町長（小林則幸） 今議員さんのご質問は、定額給付金事業について所見を述べられているわけですが、確かにこれにつきましては論議も高まっておるようでございます。しかし、論議は論議といたしまして、議員さんもそれぞれ新聞紙上でこの2兆円が給付されたときにはどうするかというアンケートに対してのお答えが出ているわけですが、それぞれの皆さんがこの2兆円が給付されて、受ける額は1人1万2,000円、2万円というような差があるわけですが、そのお金は給付をされたら、今住宅ローンなり、緊急的なものに充てたい、あるいは子育て等々の急を要するそういう消費的な面に使いたいという、その意向が約60%あるわけです。だから、この論議は論議といたしまして、私はこの2兆円の給付、確かにスタートラインにおける説明責任が欠けていると思うのですが、これは私は給付されるとするならば、それぞれの皆さんがそれぞれ生活の、あるいは喫緊を要するような、そういうものに私は充てられると。貯金に回す方もおられますが、それはわずか30%、あとはそういうような用途に使いたいというご意向を持っておられるようでございます。私もちまたに反対される方に聞いているのですが、あなたはこの給付金が出たらどうしますかと、もらいませんかと、いや、何としてももらって使いたいという方が大勢です。

さらに、今回のいろいろ第1次、第2次、第3次補正等における政府の対応も、今ここにも載っておりますように、町にも1億3,000万円ですか、そういう給付とか、ここにもありますように、子育て応援特別手当とか、これは多岐にわたっているのです、単なる給付金2兆円をとらえて、だめだ、だめだ、だめだと言っているのですが、その辺の論議は私はいささかの射を射ていないと。しかも、今回の参議院におきましても、一部野党は、他の民主は、これはもう速やかに通すべきだということで対応すると、これは論議をしておいても、今申し上げましたように、住民の生の声を聞いてみますと、2兆円は有効に使われますよ、私は使われると思うのです、使ってもらいたいと思います。だから、私は速やかにこの法案を早く通して、一日も早く住民の皆さんに給付すべきだと、私たちは対応していきたいと考えております。

○議長（中川正弘） ほかに。

5番、山崎議員。

○5番（山崎信義） 今の給付金事業についての話ですけれども、町長は説明されたとおりなのですが、国のほうで説明不足が十分考えられます。私もいろいろ言われているのですけれども、それで今回のこの2兆円、前は7,000億円という振興券の関係がありまして、今回その反省を踏まえての対策もありますので、その辺十分理解しなければならぬと思います。

そういうことで、先ほど総務課長から外で対応をいろいろしていきたいという話もありますが、私のお願いはそのときに、今町長おっしゃったように、使うだけが意義ではないということなので、その意義というものをしっかり把握してほしいのです。2つの意義があると言われていますが、生活支援と、それから需要喚起といいますか、そういうことを十分に伝えていかないと、せっかくの2兆円が泡と消える可能性もありますけれども、先ほどの話ではありませんが、60%の方は欲しいとおっしゃっている、必ず使うと思います。私どもできればまた町内で使っていただければ非常にいいと思いますけれども、そういう関係の喚起を私は十分してほしいということをお願いします。

○議長（中川正弘） ほかに質疑ありませんか。

9番、田中議員。

○9番（田中 元） 関連なのですが、今貯金に回されるというお話が30%あると、あと使いたいという方とあると、こういうことなのですが、町がこれに付加価値をつけて、町内で消費するような方法を考えられることはできませんか。例えば今出てきた、例のプレミアム券問題もそうですけれども、そのようなことをして地元の農商工業者、できるのであれば、そういう対応はできるのかできないのか、その辺の考え方はどうでしょうか。

○議長（中川正弘） 町長。

○町長（小林則幸） この件につきましては、若干この前の協議会の席でも私なりの考え方を申し上げたわけですが、私は今田中議員さんのおっしゃる、意図とされることは商工振興券、プレミアム券についてのご意見ではないかと思うように受けとめたわけですが、これにつきましては新潟県の半数以上の市町村が、今回の2兆円給付と合わせてプレミアム券を発行するというような規定路線を敷いて準備を進めているようでございますが、私は私の考えとして、事実で私は申し上げております。これは、2兆円はやっぱりプレミアム券とは関係なく、先ほど山崎議員さんがおっしゃるように、私はやっぱり町民の皆さんにこの8,500万円有余を、その半数以上は何としても、議会の皆さんから、職員の皆さんにもお願いしたいと思うのです。それぞれに給付されたものは、何とかこの町内でそういう消費に、いろいろなものはどうしても必要なのですから、そういうものに使っていただくと。そして、この町として考えております、私なりの考えですが、議会の皆さんにもこの前も申し上げましたように、ある時期に第2弾としてプレミアム券の発行を考えるべきだと私は思っています。

しかも、先ほどお話が出ますように、一律にただ商品券を出す、今までのプレミアム券の発行にかかわった反省点といたしまして、例えばそういう方あったかないかわかりませんが、大量に買って、

そして自動車なり大きな商品に回される方もあったやに聞いております。私は、今回は発行する以上、今2兆円の問題についてもご意見がございますが、私はこれについてはめり張りをつけるべきだと考えております。生活困窮者なり、母子家庭なり、老人暮らす世帯とか、そういう方については、これは私の私案です、これ議会の皆さんのこれからのまたご意見を承って実施したいと思うわけですが、そういう方々については、やっぱりプレミアムを2割にするとか、一般の方については1割にするとか、しかも平等に、平均的に各世帯で使ってもらえるような方策を考えてこの事業を進めるべきだと私は考えています。この辺のことにつきましては、また皆様方からもまたいろいろご意見を承って、最も適切にして、最も有効に目的を達せられる方法で考えていきたいというように思っておるわけであります。

さらに、今この2兆円の給付にかかわっててんやわんやしているわけです。その中でまた、これはちょっとよそのことにするのではないのですが、私の考えですが、またこれにプレミアム券を出してどうするこうすると、そういう考えとしてはいささか私としては相受け入れないこと、こうして考えています。その辺で、今後また私が申し上げたことについての皆さんの意見、あるいは町民の皆さんの声を聞きながら、より適切に、より有効に出雲崎町の地域振興に、消費につながるような形で考えていきたいというふうに思っています。

○議長（中川正弘） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第2号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思います。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 異議なしと認めます。

したがって、議案第2号は委員会付託を省略することに決定しました。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第2号を採決します。

この採決は起立によって行います。

議案第2号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○議長（中川正弘） 起立全員です。

したがって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

◎議案第3号 平成20年度出雲崎町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）
について

○議長（中川正弘） 日程第5、議案第3号 平成20年度出雲崎町簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）についてを議題とします。

提出者の説明を求めます。

町長。

○町長（小林則幸） ただいま上程されました議案第3号、簡水関係補正予算につきましてご説明を申し上げます。

このたびの補正予算は、国の第2次補正予算を活用し、上中条浄水場に非常用発電機設備を設置する工事費を計上いたしました。

これによりまして、歳入歳出にそれぞれ補正額800万円を追加し、予算総額を1億5,900万円とするものであります。

よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。

○議長（中川正弘） 補足説明がありましたらこれを許します。

建設課長。

○建設課長（玉沖 馨） それでは、補足説明させていただきます。

歳出、251ページをごらんください。15節工事請負費でございますけれども、発電機の能力80キロボルトアンペアのものを1台設置するというにしております。これによりまして、上中条浄水場の付近の4カ所の井戸と浄水施設の機能を稼働させる機能を賄うことができます。

次に、歳入でございます。上のページでございますが、歳出に係る財源といたしまして、一般会計繰入金、これは国の補助金の地域活性化生活対策臨時交付金になりますけれども、これと前年度繰越金を計上させていただくものでございます。

よろしく願いいたします。

○議長（中川正弘） これから質疑を行います。質疑ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

お諮りします。ただいま議題となっております議案第3号は、会議規則第39条第3項の規定により委員会付託を省略したいと思っております。ご異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 異議なしと認めます。

したがって、議案第3号は委員会付託を省略することに決定いたしました。

これから討論を行います。討論ありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○議長（中川正弘） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから議案第3号を採決します。

この採決は起立によって行います。

議案第3号は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○議長（中川正弘） 起立全員です。

したがって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

◎閉会の宣告

○議長（中川正弘） 以上で本日の日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成21年第1回出雲崎町臨時会を閉会します。

(午前10時03分)

上記会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

出雲崎町議会議長 中 川 正 弘

署名議員 宮 下 孝 幸

署名議員 日 山 正 雄